

授業科目名(英文名)bbb / Course title	共生機能科学ゼミナール				
担当教員(所属) / Instructor	土田 努(理学部生物学科)				
授業科目区分 / Category	専門教育科目 グローバルSDGs専門科目				
地域課題解決型人材育成プログラム科目 / COC+Course	-	授業種別 / Type of class	演習科目		
開講学期期限 / Period	2022年度 / Academic Year 第2ターム / Term 2 金 / Fri 4	対象所属 / Eligible Faculty			
時間割コード / Registration Code	D43383	対象学年 / Eligible grade	1年 ,2年	単位数 / Credits	1単位
ナンバリングコード / Numbering Code					
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact	土田 努(tsuchida@sci.u-toyama.ac.jp)				
オフィスアワー(自由質問時間) / Office hours	土田 努(理学部 A225. 予めメールで連絡して下さい)				
Moodleコース統合時間割コード / Moodle course join Registration Code					
Moodleコース登録教員名 / Moodle course registered Instructor					
MoodleコースURL / Moodle course URL					
各種教育プログラム1 / Various Educational programs1					
各種教育プログラム2 / Various Educational programs2					
各種教育プログラム3 / Various Educational programs3					
各種教育プログラム4 / Various Educational programs4					
各種教育プログラム5 / Various Educational programs5					
リアルタイム・アドバイス / Real-time advice	更新日				
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け(一般学修目標) / Course Objectives	教育目標 / Educational Goals				
共生機能科学分野(特に、個体もしくはそれ以下のレベル)での注目度や評価の高い論文を講読し、最新の研究動向や研究手法について学修する。また科学英語論文の講読を通じて、科学論文の構成の仕方、科学英語で頻繁に用いられる定型表現、英語での資料(レジメ)作成についても学修する。					
達成目標 / Course Goals					
(1) 自ら課題を設定し、その課題に対する最新の論文を検索により見つけ出すことができる。 (2) 論文の研究背景、手法、結果等に関して説明できる。 (3) 科学論文のスタイル、構成について理解する。 (4) 科学英語の定型表現に慣れる。					
授業計画(授業の形式、スケジュール等) / Class schedule					
第1回: ガイダンスと共生機能科学分野における課題の設定及び論文の検索 第2回: 共生機能科学分野の課題に関連する学術論文の講読 1 - 1 (「研究背景」に関して) 第3回: 共生機能科学分野の課題に関連する学術論文の講読 1 - 2 (「研究手法」に関して) 第4回: 共生機能科学分野の課題に関連する学術論文の講読 1 - 3 (「結果と考察」に関して) 第5回: 共生機能科学分野の課題に関連する学術論文の講読 2 - 1 (「研究背景」に関して) 第6回: 共生機能科学分野の課題に関連する学術論文の講読 2 - 2 (「研究手法」に関して) 第7回: 共生機能科学分野の課題に関連する学術論文の講読 2 - 3 (「結果と考察」に関して) 第8回: まとめ					
授業時間外学修(事前・事後学修) / Independent Study Outside of Class					
事前学修: 検索した論文をもとに授業範囲を予習する(1時間以上) 事後学修: 授業範囲の内容をまとめる(1時間以上)					
キーワード / Keywords					

履修上の注意 / Notices	開講日程は担当教員との相談の上で決定されるので、履修前に受講を希望する教員と事前調整すること。補助資料は自ら日英両言語で作成する。
教科書 / Required Text	
参考書 / Required Materials	
教科書・参考書に関するその他通信欄	課題に関連した電子ジャーナルを教材とする。
成績評価の方法 / Evaluation	学習態度、プレゼンテーション・ディスカッション内容、口頭質問に対する応答から、総合的に判断する。評価の比率は、受講態度:プレゼンテーション(質疑応答を含む) = 1:1。
関連科目 / Related course	
リンク先URL / URL of syllabus or other information	
備考 / Notes	

授業追加情報 / Course add information

使用言語 / Language	日本語および英語。
アクティブ・ラーニングの実施 / Active learning	実施あり
アクティブラーニングの実施内容 / Contents of Active learning	自ら課題を設定し，その課題に対する最新の論文を検索により見つけ出す。論文の研究背景，手法，結果等に関して学修し、レジユメを作成してプレゼンテーションする。
実務経験教員科目 / Work Experience teacher's subjects	
データサイエンス科目 / Data Science subjects	
他学部・他研究科等学生の履修可否 /	可（理工学研究プログラム）